

平成 28 年 5 月 4 日

対日投資セミナー 安倍総理スピーチ

皆様、おはようございます。安倍晋三です。日本・ベルギーの外交関係樹立 150 周年に当たる記念すべき年に、ブリュッセルにおいて対日投資セミナーを開催することができ、嬉しく思います。

私は昨日ブリュッセルにやってきましたが、昨日、今日と素晴らしいお天気であります。私自身、あまり自慢できることはないのですが、私の行く所が晴れる。日本では「晴れ男」と言われておりますが、その能力を発揮することができて、嬉しく思います。

日本人はベルギーに対して、150年の関係以上に親しみを感じています。例えば日本人にとって、ベルギーのビール、チョコレート、レースは大変身近なものであります。私共一行は特に昨夜、ビールには大変親しんだのではないかと思います。

ベルギーは重要な投資先でもあります。ベルギーに進出している日本企業は 228 社、ベルギーに住む日本人は約 5,400 人に上ります。

一方、日本に進出しているベルギー企業は 76 社、日本に住むベルギー人は約 1,180 人です。決して多くはありません。ベルギーから日本に対して、更に投資をしていただきたいと思っております、本日はそうした思いで、このセミナーにやってきました。

アベノミクスにより、日本の投資環境は確実に改善しました。企業収益は過去最高になり、新たに 110 万人以上の雇用が生まれました。

コーポレートガバナンスコードは、昨年 6 月から、2,000 社を超える上場企業に適用されるようになりました。独立社外取締役を選任する企業は、この 2 年間で倍増しました。

日本のビジネスコストは決して高くはありません。民間企業の調査によれば、東京の一等地のオフィス賃料と比べて、香港は 1.8 倍、北京は 1.3 倍です。アジアの中核都市の中で、日本は割安と言っていいでしょう。

この 4 月から、法人実効税率を一気に 20% 台へと引き下げました。2018 年度には更に引き下げを実施し、ドイツ並みの水準にいたします。エネルギー分野においては、電力小売を全面自由化しました。

私は改革の手を緩めることはありません。「世界で最もビジネスしやすい国」を目指す。引き続き改革を断行してまいります。規制・行政手続を、企業の目線に立って抜本的に見直します。

日本はもはや、外国人に閉じた国ではありません。2020 年までに、外国人 IT 人材を 3 万人から 6 万人に倍増することを目指します。今後も高度外国人材の受入れを推進してまいります。

日本は、イノベーションに最適な環境を整備します。再生医療分野では、製品の承認を迅速化した結果、iPS細胞から作った心筋や網膜など、世界初の製品を生み出す動きが次々と出てきています。本社をカリフォルニアから東京に移転した再生医療ベンチャーも現れました。

今月末にはG7伊勢志摩サミットが開催されます。本日のセミナーで市長が登壇される神戸市、つくば市においても、G7の閣僚会合が開催されます。

日本が注目を集めるこの機会に、まずは是非、日本を訪れていただきたいと思います。ベルギーのビールやムール貝は素晴らしいですが、日本のビールや寿司も決して負けないと思います。是非日本で、本場で味わっていただきたい。ムール貝もブラッセルで味わわなければいけない。日本の寿司は日本で味わっていただきたいと思います。

日本へ投資をする企業の皆様のために、ジェトロと在外公館が連携し、全面的に支援する体制も整えています。より良い貿易投資ルール準備のためにも、日EU・EPAの年内妥結の実現に全力を尽くしてまいります。

最後に申し上げます。是非、日本に、投資を。ありがとうございました。